

要素訓練結果報告の概要

1. 訓練の目的

本訓練は、予め定められた原子力災害時における応急対策または復旧対策等に関する手順の検証および習熟を行うとともに、体制、資機材の取扱いおよびその実効性について改善を図るものである。

2. 実施日および対象施設

(1) 実施日

平成26年8月9日(土)～平成26年11月8日(土)

訓練毎の実施日については、「添付資料」のとおり。

(2) 対象施設

東通原子力発電所 1号機

3. 実施体制、評価体制および参加人数

(1) 実施体制

訓練毎に実施責任者を設け、実施担当者が訓練を行う。

詳細は、「添付資料」のとおり。

(2) 評価体制

定められた手順どおりに訓練が実施されたかどうかについて実施責任者が評価する。

(3) 参加人数

「添付資料」のとおり。

4. 原子力災害想定概要

(1) モニタリング訓練

放射性物質の放出により敷地内の放射線量または空気中の放射性物質濃度が上昇した状態を想定。

(2) 電源機能等喪失時対応訓練

全交流電源喪失、原子炉除熱機能喪失および使用済燃料プール除熱機能喪失の状態を想定。

5. 防災訓練の項目

要素訓練

6. 防災訓練の内容

- (1) モニタリング訓練
- (2) 電源機能等喪失時対応訓練

7. 訓練結果の概要（添付資料参照）

(1) モニタリング訓練

- a. モニタリングポスト，ダストモニタおよび放水口モニタ等のデータ監視について実動訓練を実施した。
- b. 最大空間放射線量率出現予測地点，空气中放射性物質最大濃度出現地点における線量評価について実動訓練を実施した。
- c. モニタリングカーおよび可搬型モニタリングポストを用いた空気吸収線量率の測定，モニタリングカーによる試料採取・測定について実動訓練を実施した。

(2) 電源機能等喪失時対応訓練

- a. 全交流電源喪失，原子炉除熱機能喪失および使用済燃料プール除熱機能喪失を踏まえた緊急安全対策の各対策について，個別に緊急時対策要員による訓練を実施した。
- b. 訓練にあたり，本設機器へ直接影響が生じる手順は模擬とし，現場での動作確認および机上での手順確認を実施した。

8. 訓練の評価

各要素訓練について，定められた手順どおりに訓練が実施されていることを確認した。
訓練毎の評価結果は，「添付資料」のとおり。

9. 今後に向けた改善点

各要素訓練における当該期間中の改善点および今後に向けた改善点は，「添付資料」のとおり。

以 上

〈添付資料〉要素訓練の概要

要素訓練の概要

1. モニタリング訓練（訓練実施日：平成26年10月28日，参加人数：10名）

概要	実施体制 (①実施責任者，②実施担当者)	評価 結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
放射線管理測定訓練	① 放射線管理課長 ② 放射線管理課員	良	—	・有事の際，モニタリングポスト局舎への出入りを円滑にする観点から，モニタリングポスト局舎の施錠管理方法について検討を行う。 ・防護服を着用する際，防護服の装着ミスを防止するため，作業者同士による着用状態の確認について，マニュアルへ反映する。
連続モニタ監視，予測線量評価，空気吸収線量率測定の実動訓練を実施				

2. 電源機能等喪失時対応訓練（訓練実施日：適宜反復訓練を実施（当該期間内で計35回実施），参加人数：延べ251名）

概要	実施体制 (①実施責任者，②実施担当者)	評価 結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
緊急時の電源確保に関する訓練	①電気保守課長または発電管理課長 ②電気保守課員，技術課員，放射線管理課員，品質保証室員，発電管理課員または協力会社作業員	良	—	—
電源車および大容量電源装置等による電源確保の手順の実動訓練や机上訓練等を実施				
緊急時の最終的な除熱機能の確保に関する訓練	①機械保守課長，電気保守課長または発電管理課長 ②機械保守課員，電気保守課員，発電管理課員，土木建築課員または協力会社作業員	良	—	工具操作時の確実性・安全性を向上させるため，各種作業において使用する工具を自在工具（モンキーレンチ）から適正工具（スパナ）へ変更する。
消防車による原子炉への代替注水等の実動訓練やライン構成等の一連の動作確認を現場にて実施				
緊急時の使用済燃料プールの冷却確保に関する訓練	①機械保守課長 ②機械保守課員 または協力会社作業員	良	—	—
消防車による使用済燃料プールへの注水等の実動訓練を実施				

要素訓練の概要

概要	実施体制 (①実施責任者，②実施担当者)	評価 結果	当該期間中の改善点	今後に向けた改善点
その他必要な訓練 原子炉建屋のベント開放操作に係る動作確認やホイールローダーによる模擬がれきを用いた実動訓練等を実施	①土木建築課長，発電管理課長 電気保修課長または放射線管理課長 ②土木建築課員，発電管理課員，電気 保修課員，放射線管理課員または協 力会社作業員	良	前回の高放射線下訓練における反省事項として，屋外での訓練が続いており，管理区域内での対応も含めた訓練の実施の必要性があげられたことから，管理区域内での訓練を実施した。	・緊急時の入退域エリア設定を円滑かつ迅速に行うため，資機材に緊急時用である旨を明示するとともに，資機材のリスト化を行う。 ・緊急時に設定した入退域エリアの運用を円滑に行うため，当該エリアの運用方法についてマニュアルに反映する。